書くことで 新しい「自分」に気付き発見する 深検 ○ 発見

け、登場する人たちや物を、自分 か身の回りの人に「置き換え」て うな素敵な人たちでいっぱい囲 うな素敵な人たちでいっぱい田 いまれていることに気付くかもし にも同じところが見つかるかも にも同じところが見つかるかも かのもいのな自とも心し囲よて分だ

県課題図書読書感想文 弄

がんマな のいらのっ こと ない 通と オれいと と の 。 の す た き た 犬っし きょう! かいどう こかけけ のかが が り。 でいくよ でいくよ が、い がままれ がままれ がままれ がままれ がままれ ` 0 表本 本を読もうと思 を紙の車いすに にとまったか にとまったか れつき前足が いっしょうけた がいをもった がいをもった

では、 ですぐになって子犬! でマオが兄弟 おがりまったとて「真いないない。」というでは、これがいない。

いたが したば、 したば、 ド他

まで

時はうれしかっ でなして、一度だ でいくと、とて でかえして、こん できるこ でなるこ でなりない。 です。 です。 できるこ でかくと、 とて とて、 とて と、 とて

う

るといってとい

ろけかん強一

わとがう

たにりオまが

とんャうがが分

たの Š ち目 を 表 しい てう題

る名

のは

とマ

もら

映中

る

りは実 りの夢だも しい。の夢だも しい。

にのだし

だ

本の中ではないことがあ 5 が書体は、 ょ つ きれで実 まてき際

思考の小字 すいなの でも、

六年

一「逃げる」、 人ちゃんの言葉は、全く理解できいたいら行動、生き方まで全てコントロールする母親には、全く理解できい、は、さらに、「逃げる」ことが「選とも「逃げていた」はずだ。ぼくでいた」はずだ。ぼくでいた」はずだ。ぼくでいた」はずだ。ぼくでいた」はずだ。ぼくでいた」はずだ。ぼくには納得がいかない。母とを責任を、母親にはだけ押し付けない。というでいた。というでいた。というでいたが、正当化しているようにしか思えているようにしか思えているようにしない。というないにはある。タカから必ずで、またいった。

い「場分史気のま」間自所だ織持練る 練る思 習地で域 を は、、 ぼっとは、、 ぼっとば、 一分が 時に、しある。 地 いる。 タ方は「逃げれる。 タ方 世決ははず 畄 くめあ Hすことは、 くいられる めたのは自

場所」を選んで逃げる」 「自分から逃げる」 ・い聞かせている。 ・史織が「自分から ・ことに気付くのは、 ことに気付くのは、 ・ことに気付くのは、 ・でである。 ・ででは、 ・ででは、 ・でいる。 何子。 史織 の 意思 で 選ん だ 瞬間 だ は 、 風 の シ は 、 風 の シ 概選だシ の「シ だと思ったとれる V イマる

いの ま気 吹投るや胸シのみ--マ く影。んのネ目親マー キマ線をし 泉 したの とりょ 奥で温めていた。そこに、 が*夢* V

藤ダてさ彩えらし「分が ら逃げる É 自分だけのシネー ス 0 原さ W

シ度え先 V)

「自分だけのシネマ」の世界だら、史織に自分の夢は何かを考えさせ、「自分だけのシネマ」の世界だら、史織に自分の夢は何かを考えさせ、「自分だけのシネマ」と、表面にある悲しみを受け上めつったり、きみだけのシネマだ。人とのつながりが離れる物語ではない。自分だけのシネマだ。他人のせいにはできないかみ、生き方を選ぶこと。今えいけることは選ぶこと。今えいけることは選ぶこと。今れば、自分で逃げずに、自分の考えな好み、生き方を選ぶこと。今えいけのシネマだ。人とのつながりが織りなすシネマだ。したのつながりが織りなすシネマだ。人とのつながりが織りなすシネマだ。人とのつながりが織りなすシネマだ。人とのつながりが織りなすシネマだ。人とのつながりが織りなすシネマだ。とのつまり、きみだけのシネマは、母親の心の底にある悲しみを受け上めの「きみだけのシネマ」には、母親の心の底にあるだろうか。きっと登場すると思う。それは、母親の心の底にある悲しみを受け上めつつ、「自分はいっ」と、素面に言いは、日親の心の底にあるましみを受け上めつつ、「自分は、母親の心の底にあるましみを受け上めつつ、「自分は、母親の心の底にあるましみを受け上めつつ、「自分にい。」と、素面に言いは、母親の心の底にあるましみを受け上めつつ、「自分にない。」と、表面に言いないとは、母親にないません。 るに年はが自

合はる思るけ

₩を気にす 友達 を 避 は違うのなってい頃の 風ま場こ夢 周 がますちをのり

違う 自の 現んは話人やけ脚いれ での一のと目ど本なかぼきよ方展一標でもいらく

笑顔でつながり明るくな 社会を明るくする作文 年 な **優秀賞**

度差をとても感じる「社会」 を関係してか、メディア を関係してか、メディア を関係してか、メディア を関係してか、メディア を関係してか、メディア を関係してか、メディア を関係を見たいでなく、社会 できることから取りるくなた。自分の身の 大ちが舎の大たちが含ま、それから を言ることから取り組む「いじめ見逃しにでする。 私のクラスでも、新潟 をしたが含まさ、のテスでも、新潟 をしたが含までする。 を言ることから取り組む「いじめ見逃したが含まです。 を言ることから取り組む「いじめ見逃したが含までも、新潟 をしなが笑顔になってる。 を言う取組でするる。 罪る 度に、 ます。 事 故目 숟 や耳に 上めに次 でのこと でのこと でのこと でのこと に過ぎ う

はない。 です。 です。 です。 です。 社会と利ます。自分でも分で

なでがスてし潟 全いゼ県 主員で笑 とロスク の名件で

うジ選たか動 足なり 手後つしつ分 にて きっと中で まりり 「私に 満力 りもってあ (価面のない) 女心する私。片の間に超えられていきたいり越えるのか」り起えるのか」り見えない壁を 自分 面の笑顔 ない マーフ・フェート マース・フェート こことは何か、目標を こことは何か、目標を にあれだけのチャレン にあれだけのチャレン にあれだけのチャレン があるだろうか」と思 中西選手も、事故で目 中西選手も、事故で目 中のと思 中のと思 があるだろうか」と思 見 なっ 幅分 のこびの 時

に多くの人が集まる を見下すところから からき 物差し「障害 っていれ 作っている。 ら き ら き ら る の たられない壁 、 片方では、 でしまって に当来る・ でしまって に当来る・ でしまって に当来る・ でしまって に当かり にある。 ではり にもして、 に当来る・ でしまって に当来る・ でしまって

でもく 来れし 見下 つか たらか ŧ, 障 い来い て者年者 のかの の人な じととはる 0 0 前 思 向 な と そ 2 く 思 の 0

うたしれ でに 段まに しようながに いは何しな りない。気ないないない。 ものが必 ŧ るに は相こ い囲を

25

会話 . あ '!

にいい掛な なま社けっ rでま 要はま 。あり私だ、す い知のと温。 日いよ意「組理と!別う味さを由も さら住思かやしれにがよ つなんいいはと やいでま絆りう 7 は、

葉同る が士須 返で田 きの意思を

、「こんにちいてくださり いてくださり があまうに話 がのように話 がのように話 記かおち

ちも分のしり戻無ポし心のな考とわポの 私のつか一さのす色カまも心るえ思っカ心 の笑のら番

わポの まの犯る偉かは切チなまら心ま見方 っカか心私す心し過人らいであるかがすでである。 っちも 。等冷のり 。もチ。も には、「社会」の見方には、「社会」の見方も見直すことが必要ない無色の心には、だから、ですから、はずっ人間の心には、だがり。ですがらでもない無色の心がよってもない無色の心がない。ですがら、ですがら、ですがら、ですがら、ですがら、ですがら、ですがら、でまりの人との関われて、大きないがです。命な、平等なはずです。命な、平等なはずです。命な、平した人も、周りの人をチカには、だけ、で接した体験もあった。 0 つ必 ります。 をさんのできると思 暑らす人に対する の見方だけでな 験もあっ. 人をチク! 人をチク! 0 たポレチ出 かるくす でな カポポポポ いカをせるす心ちクついちのい み自人る返に 補転所ポかうの安運お時 出分一のし人暗の手でカらたほ全動辞に

の る く す き が 繰 る た び

運転手候 別の場 すさんも で伝え合

。持裕け

を

変力り

本は、両者を分けるのは、 一番の近道が突顔です。 とができると思います。自分だけの価の人が、つまり、無色の心が元気を取り戻し もコントロール出来す。自分だけの価が をいます。自分だけの価が たのでしょう。 もコントロール出来がでしょう。 もコントロール出来がでしょう。 を伝えることが必要で ができると思います。 を伝えることが必要で がいっながることが必要で がらない赤ちゃんでも安 からない赤ちゃんでも安 学顔はなの伝が らさ でも安というでも安というでも安というです。ことのましていました。 (です。) (です。) (です。) (です。) (です。) (です。) (です。) (です。) チが価ならがは り安 の人感葉です。 かまましかに たをもそら周にの 、てれクにで が車字ん し由だなっスらが何「あ道ブの私てにまのての言かでお

東京2020に向け けて優秀賞

八日、母とスーパーに買い物に、たちの身の回りには、体が不自由な人が乗が北ている場所を指さしながいる車が止められなかった。私が、事が止められなかった。私が、事が止められなかった。私が、自由な人が乗いる車が優先的にとまる場所いる車が優先的にとまる場所ってしまった。その言葉を聞き、ってしまった。その言葉を聞き、ってしまった。その言葉を聞き、ってしまった。その言葉を聞き、ってしまった。その言葉を聞き、ってしまった。私は、体が不自なが、人など、体が不自由な人が乗りる事が、のと言った。その言葉を聞き、ってしまった。私は、体が不自なった人たちに、今まで何をきたのだろうか。 き、所乗イが絵

身にて自

で

Ź

しつこと (ます。 こり」

か」で か」で

よ今にか

を

差付きの

超さったといったといったといった。